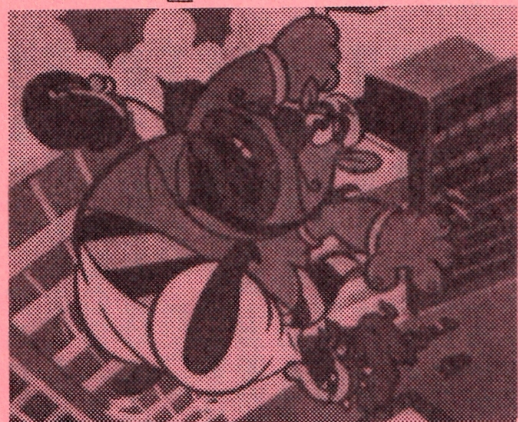
ハクション新聞

1994春の特別付録
発行/タツノコフレンドFC事務局
〒181東京都三鷹市三鷹郵便局留

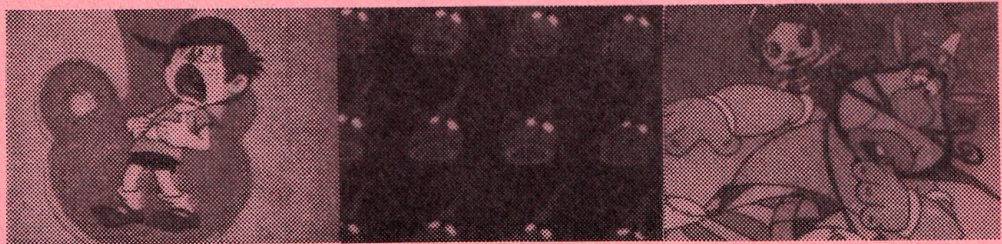
パイオニアLDCより遂に発売！
豪華ハクション大魔王LDBOX！！

♪くっしゃみ一つで呼ばれたからは〜という軽快な主題歌から始まる懐かしのTVアニメが遂にLDBOX化と相成りました。当ファンクラブのマスコットキャラクターとしても使われている当作品。今回はこの作品の為に銀座で催されましたイベントを誌上で再現。遠方で来れなかった人もこれを読んで楽しんでね。

来たる平成6年2月12日東京に25年ぶりに大雪が降った日（実は25年前ハクション大魔王が放送されたんだよねぇ〜）ハクション大魔王大会なるフィルム上映会が行なわれた。場所は銀座のガスホールで、普通の日なら人々でごったがえしているはずの銀座が大雪の為まるで年末のように静まりかえっていた。入場無料のゲスト盛り沢山、プレゼント有りの豪華イベントだったのだが、東京都内の電車の相次ぐ運休に主催者側のパイオニアも延期しようと思ったらしいのだ。が「今日はイベントやらないんですか」と言う問い合わせが殺到してしまい仕方なく開催される事になったとか。

当日はお客として参加させてもらった当スタッフだが司会者松田ひろし（元Wコミック）さんの語りの上手さに我々はついつい聞き惚れてしまった。進行なれしているせいか、ツボを押えた会話は絶品。又、若手お笑い芸人のテフテフは、もっと笑いを勉強して立派なお笑い芸人になってね。

しかし何と言ってもハクション大魔王のカルトクイズ程凄かった物はない！何せ正しい答えを、言っても不正解になるのだから…。俺がルールブックだ！的クイズは常人の理解を超えていた。例えば「それからどーした」と言うキャラクターの名前は？「それからおじさん」×正解「それからどうしたおじさん」とか、魔王の泣声は？「オロローン、オロローン」×「オーロンロン、オーロンロン」等とにかく当日会場に行った者だけがあの変な雰囲気を味わうことが出来たんだよね。どっちが正しくても別にかまわんのだが…。

メインの上映会は、最高であった。本編3話分の上映は数あるエピソードの中でも、笹川監督がコンテを切った超傑作をチョイス。第一話「出ました大魔王の話」第3話「算数はかなわんよの話」第90話「ハクション魔法パビリオンの話」それぞれに味があって面白い。昔の作品なのにデザインセンスが抜群にいいしね。ギャグ物のLDは余り売れないと思われがちだけど、これは違うと思うぞ。（何だか弱腰だ…）ギャグアニメの金字塔ハクション大魔王13大付録付きインナージャケットは必見だぞっ！なっ。

司会　竜の子の歩みをちょっと聞きたいと思います。アニメの一作は白黒ＳＦアニメの「宇宙エース」！やはりスタート時と言いますと苦労があったと思いますが…。
九里　えぇっとですね、最初は苦労話になりますけれど㈱竜の子プロダクションは、元々雑誌のマンガ制作から始まったんですよ。あるとき某社から、宇宙ものをやってくれないかと言うことで話が来たんですけれど色々な問題が有りまして、結局作るんだったら僕達で作ろうと言うことになりまして、笹川ひろしさんだとか原征太郎さんらと会社を起こしまして「宇宙エース」と言うのを作ったのです。
　当時は会社が竜の子プロダクションと言っても解からず、亀の子プロダクションなんて言われましたねぇ（笑）
　その頃はアニメの製作費を作るために我々が雑誌で稼ぐ訳です。アニメーションのスタッフを食わして行きながら製作を進めて来たんですけど中々スポンサーがつかないんですね。ま、何とか思いながら作って行きまして、その一年めにフジテレビで産声を上げました。こんな調子でアニメ製作が始まりました。
司会　竜の子のマークは子供の頃物凄いインパクトありましたけどねぇ。子供ながらにタツノオトシゴを飼いたくなりまして…。結構インパクトあるロゴだと思いますがそれでも亀の子プロと間違えられたんですか？
九里　まだその頃はロゴマークが出来てませんで、間違われないように個性の有るものを何とか作ろうと思いまして、雑誌の協力者と一緒に、あれやこれやと付け加えたりしまして出来ました。
司会　宇宙エースの歌は今でも覚えているんですが、当時から歌に関しての拘わりはあったんですか？
九里　そうですねぇ。当時売れてる作詞家のやなせたかしさんや作曲家のいずみたくさんのおかげで、素晴らしい曲になりました。
司会　２作めはどちらかと言いますと、九里先生の好きなパターンだと考えるんですけれど「マッハＧＯＧＯＧＯ」早くもカーアクションですね。
九里　当時、カーレースが走りでして、これを何とかアニメーションにしたいと言うことになりまして…。
　その頃丁度、富士サーキットが出来ましたのでカーレースを見に行ったりしました。元々自分たちが、やりたいものをやってみようと言う事から発してますんであれも遅く放送したんですね。
　やはり、スポンサーがつかなくって…
司会　今だと竜の子プロと言うだけでスポンサーさんも沢山来ると思うんですけど、当時はその辺が大変だった訳ですね。
　竜の子アニメの中には良く家族愛が描かれていますよね。
九里　そうですね当時私も新婚でして、子供も小さいし自分なりの夢も有りましたんで自然と子供に伝えたいと。それとね竜の子作品には単なるギャグにしてもですね、ドタバタでなくて必ず愛とかホットなものを感じさせようと…。作品をつくる上で、泣きながら笑うというペーソスを一番大切にして作っていました。
　今もそういう気持ちなんです。
司会　今度は笹川さんの出番になってくると思うのですが、当時のマンガの主流がＳＦ物だった中で、グズラのようなナンセンスギャグを始められたのは凄い事だと思います。
　そこで今回のハクション大魔王と来るわけですが、最初どの様な形で生まれたんですか？
笹川　あれは、アラビアンナイトのアラジンと魔法のランプを、ちょっと頂いて出来ました。最初の魔王はもっと恐いイメージだったんです。プロレスラーにヒゲがついたようなね。一話目は腕に面影がちょっと残っているかも知れませんが。
司会　結構毛深かったですね。
笹川　その前のやつはもっと凄かったんですよ。本当に恐い恐いね、プロレスラーのモリモリの…
司会　タツノコの紅三四郎みたいな。
笹川　そう、それでね第一話の制作に入ったんですけど、その時にスタッフからもう一つ何か無いかと言われましてね、途中で変更しているんですよ。
司会　ハクション大魔王の好きな食べ物にハンバーグというのが有りますが、これは当時インスタントハンバーグが出た事と何か関係があるのですか？

笹川　これは最初コロッケだったんですよね。（ここで九里氏を見る）たしかアフレコの現場へいって変わったんです。丁度茶色でね…。まあ、コロッケに比べてハンバーグの方がちょっと新しかったんですね。

司会　最初の頃はハンバーグなのに油で揚げてるとかありましたね。所で、大魔王でNGになったキャラクターが有るそうですが…

笹川　未公開でオナラってのが有ったんです。キャラクターを作ったんですが受け入れて貰えませんでしたねぇ。（笑）スポンサーはやっぱりね、子供物だと言うことで作る方も何とはなしにね…。

司会　でも今やるんでしたら、オナラの方が絶対受けますよね。

笹川　ええ、キャラクターも冴えない奴でしてねぇ。（笑）

司会　ハクション大魔王の声優さんは、キャラクターと声優のイメージを上手く生かしてますね。

笹川　声優はハクション大魔王の前のグズラの時に難行しましたね。主役の大平透さんが決まるまでに落語家の方にも入ってもらってオーディションを行ないましたからね。落語家の方ってセリフの前に必ず「えー」って入っちゃうんですよ。これがちょっと気になりましてね…。で大平透さんに決ったんです。グズラも良いですけどハクションも良いですよね。

司会　折角ですので会場の方で御質問が有りましたらどうぞ。

Aあの、最近パトレイバーの押井さんとか無責任艦長タイラーの真下さんと言うタツノコ第二世代の方々が活躍されていますが、そういう方々が初めてタツノコに入って来た時の事を聞かせて頂けないでしょうか？

九里　押井くんと真下くんはですね、大学から映像が好きでして、とにかくアニメーションをやってみたいと凄い情熱に燃えていたんですよ。当時はですね、タツノコにはスタッフが沢山おりましたので、お断りしたんですが、是非タダで良いから勉強させて欲しいと言うことでお見えになったんです。それで暫くはギャラ無しで仕事をしていたんです。それから笹川氏の横についたり、或いは僕が絵を教えたりしましてね。

やはりそういう人達って言うのはパワーが違いますね、そのうち段々と身をなして来ましてね。今では素晴らしいアニメーションを作っていますね。

司会　そんな名のある方をタダで、使っていたんですか？

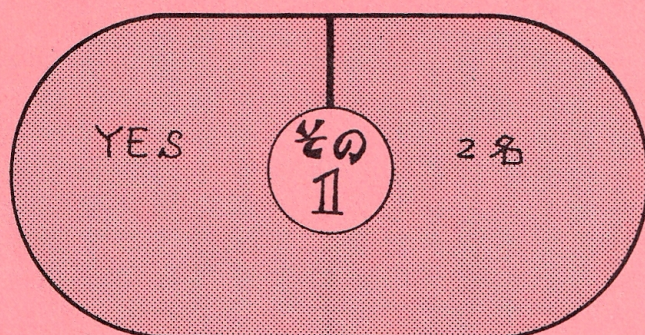
九里　そうです。申し訳ないと思っています。

笹川　彼らが来たのは丁度タツノコが築いた第一次期の僕とか原征太郎さん、鳥海さんとかそういう連中が居座った後の連中なんです、丁度三人が一緒に入って来まして。真下くんと植田くん、西久保くんと、それから一年後に押井くんが入って来たんですよね。アニメはかなり素人だったんですよ。逆に情報を余り持っていなかったんで良かったんじゃないかと思いますけど…。一番絵が上手かったのは植田くんで、漫画家になろうとしてた位なんで絵も非常に上手かったです。真下さんと押井さんはひどい絵です。（笑）それはガッチャマンを描いても、これがガッチャマンかと言う位、変な絵でした。（会場内大爆笑）でも本当はそれで良いんです。コンテっていうのはストーリーボードのためにカット割をすればいいんで、それはそれで良いんですが、その後の処理の力が非常に上手かによって、演出家としての才能が問われるのです。まあ押井くんは、もう少しメジャーな所へ出てきて欲しいなぁと思っております。彼はどうしても、玄人受けの方へ行ってしまうのでもう少し、大衆の方にね…。あくまで私個人の希望なんですけど。しかし、彼らはこれから益々活躍されると思いますので期待しています。

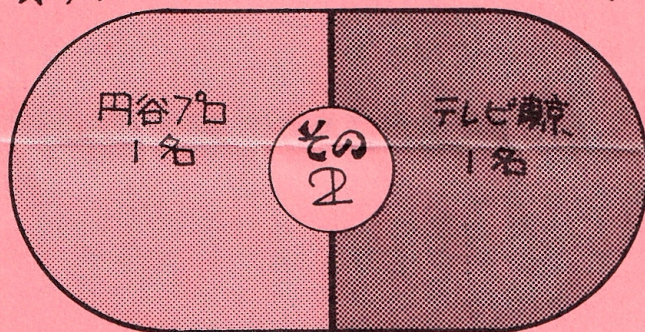
司会　当時は素人だったと言われましたけどもタツノコプロに入って勉強なされたから今日の才能が開化されたんではないかと、私は思いました。今後も若手を育てて数多くの傑作を作り続けて下さい。本日は、お忙しい所どうも有難うございました。

（このトークはハクション大魔王大会でお二人が喋られた事を元に編集部がまとめました）

《ステレオグラム》眼を凝らして上の点が3っになるまで見つめてください。すると、あ〜らふしぎ！魔王が飛び出て来るよ。君には見えるか？

☆タツノコプロと云う会社を知っていますか？

☆タツノコと聞いて何を思い浮かべますか？

おもしろくってタメになるコーナー

DATA・Q

本誌を離れて出張DATAQが来たぞっ。今日は「看護婦さん2人に聞きました。タツノコプロという会社を知っていますか？」です。結果は見ての通り二人とも知っていました。そこでどんな事を思い浮かべるのかを聞いてみました。ここで筆者の思う通りハクション大魔王と答えてくれると非常に嬉しかったのですが…。世の中、そう思い通りに行く訳もなく凄い結果になってしまいました。ハハハッ…。

自称アニメファンの看護婦Aさんは「知ってる知ってる、良くテレビ東京でやってるトコでしょ。でも…最近TVで見ないケド」と無邪気に語ってくれました。何故かちょっぴり寂しいぞ。

往年のヒーロー「ガッチャマン」「ポリマー」「テッカマン」「キャシャーン」に近作「ブレード」「王道復古」「CASSHAN」を収録したムック「タツノコヒーローズ」が発売されるぞっ。内容はフィルムストーリーや設定資料、OPフィルムを交えての作品解説。鳥海、笹川、小隅、九里氏ら、往年のスタッフインタビュー、グッズ解説と盛り沢山の内容。ダーツ編タツノコプロ監修で、朝日ソノラマから発売。タツノコFCの記事も有るので良かったら見てね。

今回は会員の方にこの本を特別にプレゼントします。題して「福島監督を探せ！キャシャーンOPの謎」です。タツノコヒーローズの新作キャシャーンのOPカットのある部分に監督　福島宏之の文字がうっすらと浮かんでいます。そのページはページの何処でしょうか。問題の答えと、貴方の住所、氏名、をハガキに書いて事務局までお送りください。抽選で1名様にプレゼントいたします。さあみんな本屋へ急いげ。（ついでに買っちゃえ）